



平成 28 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 マ ル シ ャ 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 加 藤 洋 嗣
(コード番号：7524、東証 第1部)
問 合 せ 先 執 行 役 員 管 理 本 部 長 藤 原 徹 二
(電話 06-6624-8100)

資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに 剰余金の処分に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 5 月 13 日開催の取締役会において、平成 28 年 6 月 19 日開催予定の第 44 回定時株主総会に、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分に係る議案を付議することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

当社は、本日公表の平成 28 年 3 月期決算短信に記載のとおり、平成 28 年 3 月期の決算において、229,766,889 円の繰越利益剰余金の欠損を計上しました。

この欠損の填補及び当社基本方針である安定的な配当を実施すると共に、今後の機動的かつ柔軟な資本政策に備えるため、資本準備金及び利益準備金の減少並びに剰余金の処分を行うことといたしました。

2. 資本準備金及び利益準備金の額の減少の要領

会社法第 448 条第 1 項の規定に基づき、資本準備金を減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともに、利益準備金全額を減少し、繰越利益剰余金に振り替えます。

- (1) 減少する資本準備金および利益準備金の額
資本準備金 1,619,390,000 円のうち 802,663,644 円
利益準備金 66,982,409 円全額
- (2) 増加するその他資本剰余金および繰越利益剰余金の額
その他資本剰余金 802,663,644 円
繰越利益剰余金 66,982,409 円

3. 剰余金の処分の要領

会社法第 452 条の規定に基づき、その他資本剰余金および別途積立金で繰越利益剰余金を欠損填補するものであります。

- (1) 減少する剰余金の額
その他資本剰余金 802,663,644 円
別途積立金 513,112,924 円
- (2) 増加する剰余金の額
繰越利益剰余金 1,315,776,568 円

4. 資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関する日程

- (1) 取締役会決議日 平成 28 年 5 月 13 日
- (2) 債権者異議申述公告 平成 28 年 5 月 17 日 (予定)
- (3) 債権者異議申述最終期日 平成 28 年 6 月 18 日 (予定)
- (4) 株主総会決議日 平成 28 年 6 月 19 日 (予定)
- (5) 効力発生日 平成 28 年 6 月 20 日 (予定)

5. 平成 26 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当

	決定額	直近の配当予想 (平成27年11月10日発表)	前期実績 (平成27年3月期)
基準日	平成28年3月31日	平成27年11月9日	平成27年3月31日
1株当たり配当金	5円00銭円	5円00銭円	5円00銭円
配当金総額	40百万円	—	58百万円
効力発生日	平成28年6月20日	—	平成27年6月15日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(参考) 年間配当の内訳

事業年度	1株当たりの配当金 (円)		
	中間	期末	合計
第44期 (平成28年3月度) 実績	5円00銭円	5円00銭円	10円00銭円
第43期 (平成27年3月度) 実績	5円00銭円	7円00銭円 (内、記念配当2円00円)	12円00銭円

6. 今後の見通し

上記の資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分は、当社貸借対照表の純資産の部における勘定科目の振替処理となるため、損益及び純資産額に変動はなく、当社業績に影響を与えるものではありません。

また、上記の内容は、平成28年6月19日開催予定の第44回定時株主総会におきまして承認可決されることを条件としております。

以上